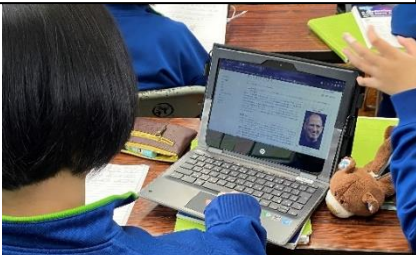


千歳桜

～豊かな心を持ち、自己の可能性を拓く新中生～

ICTを活用した学びづくり

生徒の使用するタブレット端末



タブレットを活用した学びの変換



文部科学省による GIGA スクール構想推進のため、本校でも一人一台のタブレット端末・Chromebook が町より貸与されました。これにより、生徒は、タブレット端末を活用しながら、意欲的に学習に取り組んでいるところです。

ICT活用という言葉には、例えば、生徒が ICT 端末を自由自在に使って学習を進めたり、パソコンで作品をデザインしたり、まさに、近未来的な新しい授業の姿をイメージすることが多いのではないのでしょうか。

しかし、ICT活用そのものが、各教科等の学習目的ではありません。教材・教具や学習ツールの一つとして ICT を積極的に活用し、生徒の力を伸ばす学びの実現に向けた取り組みにすることが、学習における ICT 活用の基本的な考え方となります。つまり、ICT を使えば学習が充実するのではなく、生徒の学力を伸ばす手段や方法として、効果的に活用していくことが大切となります。

具体的な活用方法としては、学習場面において Google Jamboard を活用して、協働的に考えを深めたり、考えをまとめたりしながら学習を進めています。また、画像やグラフなどを使いながらプレゼンテーションなども行いました。さらに、校内各教室をオンラインで結び、集会活動も行っています。最近では、町内中学校3校の生徒会役員によるオンライン交流会も行われました。

新たな ICT 機材



ICTを支えるWi-Fi設備



オンラインによる朝の会



今後もこのように ICT を活用した学習活動を実践していきます。ご家庭においても、活用と同時に、生徒が使用する情報端末の使用にあたって、情報モラルや健康管理・丁寧な取り扱いについてご指導をお願いいたします。

冬をこえて春になれば～進級・進学へ～

今年の冬も、しんと降り積もる雪があれば、強い風に舞った雪もありました。溶けては消えて、また降り積もる雪も、始まりはひとひらの雪からでした。小さな、そして真っ白な雪が、すべてを包み込みました。2月も終わり、いよいよ3月を迎えることになりました。厳しく長い冬もようやく終わりを告げようとしています。時折見せる青空や太陽のまぶしい輝きをどんなに待ち望んだことでしょうか。校庭の木々にも、新しい芽吹きが聞こえてきています。

詩人ハイネは、『春が何であるかは、冬になって初めてわかる』と書き残しています。この厳しい冬を地道に歩んだその先には、この冬に身に付けた力がきっと発揮されることと思います。